

高専の先生を目指してみませんか？

高専教員養成 プログラム

愛知大学での教員育成科目の受講や、高専等での教育・研究指導実習を体験することで、高専教員に就く前に、不安を解消することができるプログラムです。

対象

学部3年次
大学院博士前期課程1年次

特徴1

教員育成科目の受講

愛知大学にて講義を受講し、教授方法や学生との接し方等について学びます。

(大学院博士前期・後期課程学生対象)

特徴2

教育・研究指導実習

出身高専等にて1か月程度の実習を行い、教育や学生指導を体験します。

(博士後期課程学生対象)

詳細は大学HPをチェック！



URL : <https://www.tut.ac.jp/student/career/gkcp.html>

問い合わせ先：総務課 高専連携・国際企画係



プログラム修了生の声

2020年度から着任しましたが、新型コロナウイルスの影響で授業が始まったのは6月でした。学生も教員も初めての事態で探りあいながらの授業になりました。しかし、このプログラムで授業の入り方や学生目線の受講を学習していたので、約2か月でしっかりと準備ができ、安心して授業に臨むことが出来ました。具体的には、オンライン授業でも学生に興味を持ってもらえるよう、バーチャルキャラクターを使って講義を行うなどの工夫を行いました。また、学生の精神面に対する取り組み方も学習しており、コロナ禍でストレスを抱えた学生への接し方も実践することが出来ました。学生と実際に関わるようになってから特にこのプログラムでの経験が生きてきていると感じています。

(2019年度修了・香川 真人さん)



このプログラムの良かった点は愛知大学での座学、母校での教育実習を通して教育機関への就職後に必要な勉強を事前に学習できることです。愛知大学では、授業計画の立て方や板書計画等を学びました。その学習した内容を基に、教育実習に行くことで実際に授業計画を立て、授業を進めることを体験できました。僕は高専に就職しましたが、10月に着任してすぐに授業を3つ持っています。いきなり90分授業を週3コマするとなっても何も知らない状態だとかなり大変ですが、教育実習で体験したことを実践できています。余談ですが、高専の就職面接の際には模擬授業があります。教育実習だとしても実際に授業をしたことがあるというのは大きかったですね。

(2019年度修了・三枝 玄希さん)



実績

修了生13名、履修生12名

(2017年度1プログラム開始、2026年4月現在)

修了生の就職先：高専教員 4名

国立大学教員 1名

私立大学教員 2名 等

